

アンケートの送付

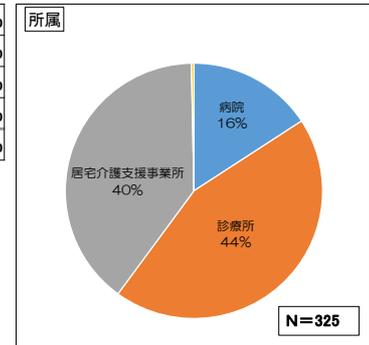
・県内の病院・診療所・居宅介護支援事業所にガイドライン送付時に各事業所に1部ずつ同封。

・6月20日(土)をアンケート締切とし、FAXで回答を求めた。

	病院	診療所	居宅介護支援事業所	未回答	合計
配布数	240	1,018	556	—	1,899
回答数	51	143	130	1	325
回答率	21%	14%	23%	—	17%

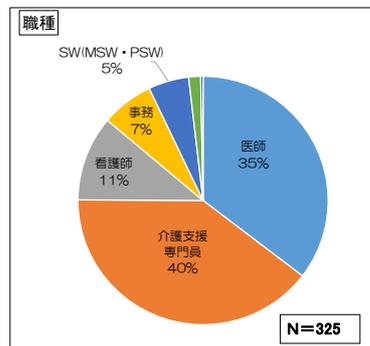
アンケート回答者の内訳(所属)

病院	51	16%
診療所	143	44%
居宅介護支援事業所	130	40%
未回答	1	0%
	325	100%



アンケート回答者の内訳(職種)

医師	115	35%
介護支援専門員	129	40%
看護師	36	11%
事務	22	7%
SW(MSW・PSW)	17	5%
その他	5	2%
未回答	1	0%
	325	100%

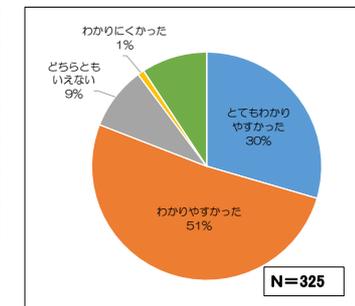


ガイドラインについてのアンケート結果

(問)ガイドラインの内容はわかりやすかったですか。

・全体の8割が「わかりやすかった」と回答(175/325)

とてもわかりやすかった	96	30%
わかりやすかった	167	51%
どちらともいえない	29	9%
わかりにくかった	3	1%
とてもわかりにくかった	0	0%
未回答	30	9%
	325	100%

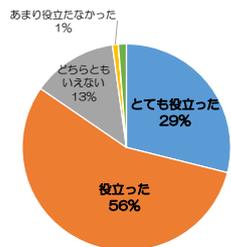


(I) ガイドラインの目的・(II) 医療と介護の連携について

【内容】

- (I) ・ガイドラインの目的
- (II) ・患者・利用者の思いを中心とした連携
・顔の見える関係づくり

【問】ガイドラインは日常業務に役立ちましたか。



N=325

【意見】

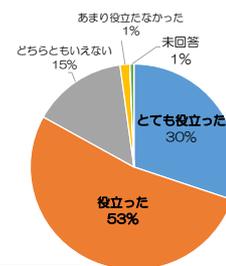
- ・医療と介護がどのように連携していくかについて考える機会になった。
(鹿児島市/介護支援専門員)
- ・患者・利用者や家族の思いを大切にしながら支援を行っていくことの大切さを痛感した。
(霧島市/看護師)
- ・今後、介護支援専門員等との円滑な連携体制を構築するためガイドラインを活用していきたい。
(始良市/MSW)
- ・かかりつけ医とは、より多く接することで関係性が構築され、お互いの距離感が縮まるのではないかと思います。お互いが積極的にアプローチすることが大切。
(鹿児島市/介護支援専門員)
- ・介護支援専門員側の医療従事者への積極的な働きかけは必要とわかってはいるがなかなか難しい。消極的になっている所もあり意識改革が必要と思った。
(阿久根市/介護支援専門員)

(III) 医療と介護の連携の現状と課題

【内容】

- ・医療と介護の連携に関する調査
- ・調査結果

【問】ガイドラインは日常業務に役立ちましたか。



N=325

【意見】

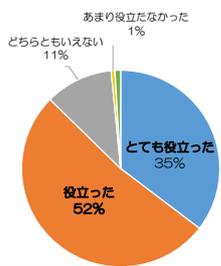
- ・医師の意見、ケアマネの意見が記載されており、今後の連携が回りやすくなるのではと期待が持てた。
(徳之島町/介護支援専門員)
- ・かかりつけ医との連携は十分理解し、ケアマネジメントしているが面談していない現状がある。顔の見える関係づくりに役立てたい。
(指宿市/介護支援専門員)
- ・私自身もケアマネとして主治医との連携はとても大切だと感じている。しかし、「お忙しいだろう。どんな連絡方法が負担をかけないだろうか」など考え、抵抗を感じている。
(鹿児島市/介護支援専門員)
- ・お互いが必要としている情報をうまく情報収集し合うことで、利用者を全体的にケアすることにつながる。
(始良市/介護支援専門員)
- ・医療側が何でも話せる態度で接することの大切さを感じた。
(鹿児島市/医師)

(IV) 医療と介護の連携時のポイント

【内容】

- ・かかりつけ医と介護支援専門員との連携
- ・医療機関と介護支援専門員との連携

【問】ガイドラインは日常業務に役立ちましたか。



N=325

【意見】

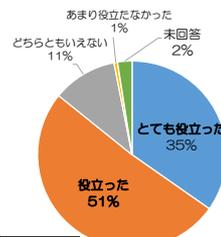
- ・ケアマネとして医師の連携は何年たっても課題があり、多忙な業務の中でタイミングや医師との関わり方がつかめず悩んでいたが、明確な指示が記載されており助かった。
(西之表市/介護支援専門員)
- ・他業種の役割がよくわかった
(鹿児島市/医師)
- ・かかりつけ医との面談の準備と実際のフローチャートが分かりやすく、今後1つずつチェックしていきたいと思う。
(さつま町/介護支援専門員)
- ・患者がより快適な生活を送る為に、どのような対応が必要か、家族も含めて全員が対等な立場で話し合うことの重要性。
(鹿児島市/医師)
- ・医療機関の方も介護支援専門員からの情報を必要とし連携を強化したいとの思いが分かりました。これからは積極的に仕事が出来る所です。
(枕崎市/介護支援専門員)

(VI) 参考資料

【内容】

- ・在宅医療に関わる多職種とその役割
- ・医療と介護の連携により算定できる診療報酬・介護報酬の項目
- ・介護保険制度
- ・医療と介護の連携のためのツール情報

【問】ガイドラインは日常業務に役立ちましたか。



N=325

【意見】

- ・「このようなガイドラインが欲しい」と普段より感じていたのでありがたしい。
(鹿児島市/介護支援専門員)
- ・介護保険サービスの種類についてわかりやすく記載されていたので役立った。
(さつま町/介護支援専門員)
- ・各職種の役割や医療・介護の制度などわかりやすくまとめてあり参考になった。
(薩摩川内市/医師)
- ・見やすくまとまっていて活用に役立つと思われるが、書き物が増えると少し大変だと思う気持ちはある。実際の現場は多忙なところもあるため。
(喜界町/介護支援専門員)
- ・知識としては勉強になったが、現場でどう利用していくか、患者さんなど介護を受ける側へどう知らせていくかなど具体的に頭に浮かんでこない。
(鹿児島市/医師)